

教皇選挙

先月末に E.ベルガー監督の映画『教皇選挙 Conclave』を新宿で見ましたが、残念ながらそれが現実のものになってしまいました。

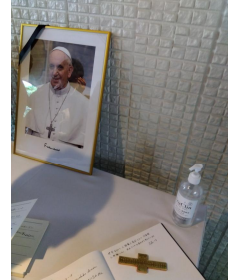
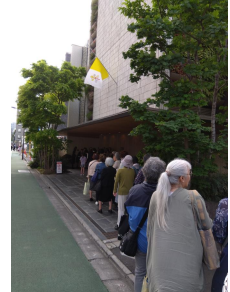
4 月 21 日イースターの月曜日、バチカン市国『マルタの家』にて教皇フランシスコが 88 歳で崩御されました。教皇フランシスコは、初の南アメリカ大陸出身者（アルゼンチン）として第 266 代目の教皇を勤めを全うされました。

6 年前に来日された教皇は、「すべてのいのちを守るため～ PROTECT ALL LIFE」をテーマに原爆の被災地である広島と長崎を訪問され、東京では上智大学でも講演されて全世界に愛と希望、平和へのメッセージを届けられました。

教皇選挙はコンクラーベ Conclave（ラテン語で「鍵がかかった」という意）と呼ばれ、教皇の死後 15 日以降（20 日以降に延長可）に全世界から 100 名を超える枢機卿がバチカン市国のシスティーナ礼拝堂の一室に集まり、選挙によって次の教皇が選出されることになっています。決定されると白い煙が、合意が得られない場合は黒い煙がストーブから流されることになっています。今回は、日本からも 2 人の枢機卿が参加します。

2023 年に公開されたドキュメンタリー映画『旅するローマ教皇』では、イタリアのランペドゥーサ島から始まり新型コロナウイルス感染症で中断されるまで 9 年間で計 37 回の旅で 53 カ国を訪問した様子が描き出されています。「旅とは知的で精神的な修行だ」と語る教皇は、難民問題や世界平和など社会情勢を抱える多くの土地に足を運んでいます。

私も昨日、千代田区麹町にある駐日ローマ教皇庁大使館 Curia Romana に弔問に出かけて記帳し、哀悼の意を表して来ました。



【映画紹介 1:旅するローマ教皇】

監督:ジャンフランコ=ロージ 第 266 代ローマ教皇としてフランシスコ
原題:In viaggio は 9 年間で 37 回、53 か国を訪問。紛争
ドキュメンタリー制作:2022 年、 や民族問題に苦しむ地域を訪ね、宗教を
イタリア 84 分 越えて人びとに平和と愛を説いた。教皇
主演:ローマ教皇フランシスコ の言葉一つひとつが社会情勢を表す。

【映画紹介 2:教皇選挙Conclave】

監督:エドワード=ベルガー ローマ教皇の死去に伴って行われる教皇
脚本:ピーター=ストローハン 選出選挙 Conclave の内幕に迫るミステリ
原作:ロバート=ハリス ー。100 人以上の枢機卿がシスティー礼
制作:2024 年、USA + UK 120 分 拝堂に集まった…。第 97 回アカデミー
主演:レイフ=ファインズ 賞では 8 部門にノミネートされた。